

ICTやロボットの導入には費用がかかるので小規模薬局では限界があるので薬局の集約化の議論も同時に必要になる。

今後、高齢者の増加に伴い、多剤処方や一包化処方が増加し、また服薬指導に時間がかかるなど薬剤師の業務時間の拡大が危惧され、需給の改善は当分見込まれないため、業務の見直しを早急に図る必要があると考える。

文献

1. 第13回薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会（令和5年3月29日）「薬剤師偏在指標の算定について」
2. 令和2（2020）年医師・歯科医師・薬剤師統計の概況
3. 平成30年度厚生労働行政推進調査事業費補助金「薬剤師の需給動向の予測および薬剤師の専門性確保に必要な研修内容等に関する研究」分担研究者：長谷川洋一
4. 第7回薬学部教育の質保証専門小委員会（令和4年7月22日）
5. 第13回薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会（令和5年3月29日）「6年制課程薬学部の定員抑制について」
6. 第10回薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会（令和3年6月16日）
7. 第13回薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会（令和5年3月29日）「薬剤師の偏在への対応策」
8. OECD Health Statistics 2021
9. 厚生労働科学研究班「薬局・薬剤師の業務実態の把握とそのあり方に関する調査研究」（研究代表者：桐野豊 元徳島文理大学学長）
10. 第3回薬局薬剤師の業務及び薬局の機能に関するワーキンググループ（令和4年3月31日）



いのち 第7回生命を見つめるフォト&エッセー 作品募集

日本医師会では、病気やけがをした時の思い出、介護にまつわる経験、命の誕生にまつわる話、医師や看護師との交流など、医療や介護に関するエピソードや、生命の輝きをとらえた写真を募集しています。ぜひご応募ください。

<概要>

フォト部門

生命の尊さ、大切さを感じさせる作品を募集します。人間、動物、自然など被写体は自由です。学生のみなさんが応募しやすいように「小中高生の部」も設けています。

エッセー部門

病気やけがをした時の思い出、介護や生命の誕生にまつわる話、医師や看護師、患者さんとの交流など、医療や介護に関するエピソード、お世話になった医師や看護師ら宛てに送ったという想定「感謝の手紙」などを募集します。小学生の部では生命を身近に感じたエピソードをテーマとします。身近な生き物にまつわるエピソードも可能です。

<応募要項ほか>

詳細は以下をご参照ください。

公式ホームページ <https://jigyoyomiuri.co.jp/photo-essay/>

生命を見つめるフォト&エッセー 検索



<締め切り>

2023年10月4日（水）必着

<作品送付先>

〒104-0061 東京都中央区銀座7-15-5 共同ビル3F 「生命を見つめるフォト&エッセー」係

<お問い合わせ先>

読売新聞東京本社 次世代事業部「生命を見つめるフォト&エッセー」事務局

Tel：03-3216-8598（平日10:00～17:00）

主催：日本医師会、読売新聞社 後援：厚生労働省、文部科学省

協賛：東京海上日動火災保険株式会社、東京海上日動あんしん生命保険株式会社